

令和3年度使用中学校用教科書

選 定 資 料

音 楽 編

(一般・器楽合奏)

令 和 2 年 6 月

愛 知 県 教 育 委 員 会

○ 学習指導要領の目標で示された資質・能力の育成を図ることができること

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

○ あいちの教育の基本理念に照らして適切な事項が示されていること

「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現（「あいちの教育ビジョン2020」より）

選定資料（音楽＜一般＞）作成の観点・着眼点

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。
2 「あいちの教育の 基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。
3 内 容 等	(1) 内容の選択 ア 教材の目標並びに学年の目標を達成するために教材の精選は適切であるか。 イ 我が国や郷土の伝統音楽を含む諸外国の様々な音楽や文化、生徒の生活経験を踏まえて興味・関心を高めるように配慮されているか。 ウ 音楽活動の基礎的な能力を身に付ける学習と発展的な学習や、弾力的な教育課程の設定について配慮されているか。
	(2) 内容の程度 ア 各領域の内容は生徒の発達段階や興味・関心に適しているか。 イ 音楽活動をするために、必要な知識及び技能の定着を図る学習活動と思考力・判断力・表現力等の育成を図る配慮がされているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切であるか。
	(3) 内容の構成 ア 内容は系統的、発展的に配列されているか。 イ 教材の配列や分量及び領域間の関連は適切であるか。
4 表記・表現及び使 用上の便宜等	ア 生徒の学びに向かう力を高めるよう、適切に表記・表現されているか。 イ 見出しや説明の文章等の表記・表現が工夫されているか。 ウ 本文記述と楽譜・挿絵・イラスト・写真・図表等が適切に関連付けられているか。
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	<p>ア 主要教材による主体的・協働的な学びに加え、より確かな学びにつながる活動や、必要に応じて、学びを深められるような学習活動となるよう工夫されている。</p> <p>ア 「話し合おう」では、音楽的な見方・考え方を働かせながら、感じ取った曲想等について、他者と交流し、進んで学び合う活動が展開できるよう配慮されている。</p>
27 教 芸	<p>ア 各教材での目標を明示し、目標に迫るための具体的な学習活動を例示することで、目標を意識し、主体的に音楽活動に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>ア 音楽的な見方・考え方を働かせる際の視点となる「音楽を形づくっている要素」を「共通事項」に示す文言で記載し、言語活動につなげられるよう配慮されている。</p>

観 点	着 眼 点
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	<p>ア 我が国や郷土の伝統音楽を取り上げ、鑑賞と表現の活動を関連付けて示すことで、伝統音楽のよさを味わい、大切にしようとする心が育まれるよう配慮されている。</p> <p>ア 音楽療法や音楽著作権、アウトリーチ等、「私たちのくらしと音楽」との関連を具体的に示し、音楽を生かして心豊かに成長できるよう配慮されている。</p>
27 教 芸	<p>ア 日本各地の郷土芸能を取り上げるとともに、中学生が祭りや芸能に携わる様子を紹介することで、音楽文化を継承しようとする心が育まれるよう配慮されている。</p> <p>ア 「生活や社会の中の音楽」や音楽に関する知的財産権、アウトリーチ等について取り上げ、音や音楽のもつ意味や価値を考えることができるよう配慮されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (1) 内容の選択	ア 教材の目標並びに学年の目標を達成するために教材の精選は適切であるか。 イ 我が国や郷土の伝統音楽を含む諸外国の様々な音楽や文化、生徒の生活経験を踏まえて興味・関心を高めるように配慮されているか。 ウ 音楽活動の基礎的な能力を身に付ける学習と発展的な学習や、弾力的な教育課程の設定について配慮されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	ア 「歌唱」「創作」「鑑賞」の学習のバランスに配慮し、音楽的な見方・考え方を働かせた主体的な学びと協働的な学びを重視した教材を精選して取り上げている。 イ 日本と世界の音楽文化を対比させ、共通性や固有性を考えることから、我が国の伝統芸能や音楽文化について学ぶことができるよう配慮されている。 ウ 「学びのユニット」では、学びのねらいとともに学習する楽曲や活動を例示し、生徒の実態に応じて多様な教育課程の構成が検討できるよう配慮されている。
27 教 芸	ア 音楽科における「思考力・判断力・表現力」「知識」「技能」に対応する学習内容を示し、その学習目標の実現に適した教材を精選して取り上げている。 イ 我が国の伝統音楽と世界の諸民族の音楽を聴き比べたり、民謡と合唱との発声の違いを考えたりして、音楽に対する価値観や視野が広がるよう配慮されている。 ウ 学年を通して、学習内容が段階的に進められるよう学習目標や教材が配列されるとともに、自ら課題を見付ける学習を配置し、学びが深まるよう配慮されている。

観 点	着 眼 点
3 内容等 (2) 内容の程度	ア 各領域の内容は生徒の発達段階や興味・関心に適しているか。 イ 音楽活動をするために、必要な知識及び技能の定着を図る学習活動と思考力・判断力・表現力等の育成を図る配慮がされているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	ア 発達段階や興味・関心等の実態に応じて適切な楽曲を選定できるように、雰囲気や曲想が異なる楽曲を多く取り上げている。 イ 「Let's Sing!」や「Let's Try!」では、必要な知識及び技能を体得し、音楽表現を創意工夫することで、思考力・判断力・表現力が育まれるよう配慮されている。 ウ 「深めてみよう」では、学びを深めるための楽曲や活動を掲載することで、これまでの学びを生かした、より発展的な学習が展開できるよう配慮されている。
27 教 芸	ア 発達段階や興味・関心等の実態に応じて適切な楽曲を選定できるように、中学生への思いを託した楽曲を多く取り上げている。 イ 「My Melody」や「Let's Create!」では、手順や記載例に従って考えを整理しながら学習を進めることで、思考力・判断力・表現力を育むよう配慮されている。 ウ 「指揮をしてみよう」では、知識や技能を確認しながら、鑑賞曲や合唱曲を指揮で表現して、より豊かな音楽活動につなげることができるよう配慮されている。

観 点	着 眼 点
3 内容等 (3) 内容の構成	ア 内容は系統的、発展的に配列されているか。 イ 教材の配列や分量及び領域間の関連は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	<p>ア 進んで学び合う活動、協働的な活動、対話的な活動が、領域ごとに3年間を通して系統的、発展的な内容になるよう配列されている。</p> <p>イ 表現及び鑑賞の冒頭に主要教材を含む「すすんで学び合おう」を配置し、さらに学びを深めることができる教材が適切な分量、配列になるよう配慮されている。</p>
27 教 芸	<p>ア 考える力を引き出し、対話を通して深く学ぶ「深めよう！音楽」を配置するなど、系統的、発展的な内容になるよう配列されている。</p> <p>イ 各教材を通して身に付けられる音楽の力を示し、各領域から学びを深めることができるよう、相互の関連を意識した教材が適切な分量、配列になるよう配慮されている。</p>

観 点	着 眼 点
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<p>ア 生徒の学びに向かう力を高めるよう、適切に表記・表現されているか。</p> <p>イ 見出しや説明の文章等の表記・表現が工夫されているか。</p> <p>ウ 本文記述と楽譜・挿絵・イラスト・写真・図表等が適切に関連付けられているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	<p>ア 各教材に学びのポイントを示し、学習内容を明確にすることで、見通しをもって学習に取り組み、振り返りの視点とすることができるよう工夫されている。</p> <p>イ 主要教材の見出しは、領域ごとにカラー枠で囲まれ、学びのポイントが明確である。楽曲やその背景について、端的で分かりやすく説明されている。</p> <p>ウ 本文と適切に関連付けられた挿絵や写真を豊富に使い、歌唱共通教材は楽曲ゆかりの地の写真を巻頭に掲載するなど、楽曲のイメージがもてるよう工夫されている。</p>
27 教 芸	<p>ア 学習目標や活動例を明確に示したり、見通しをもって演奏者のアドバイスを紹介したりすることで、主体的に学びに向かうための工夫がされている。</p> <p>イ 領域ごとに学習目標がカラー枠で色分けし、学ぶ内容を明確にするとともに平易な言葉を使用して楽曲やその背景を丁寧に説明するよう工夫されている。</p> <p>ウ 本文と適切に関連付けられた挿絵や写真が豊富に使われている。共通のキャラクターが学習課題やポイントを示し、学習活動の支援になるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	ア 印刷は鮮明で、文字の大きさや書体が適切であり、色鮮やかな配色で工夫されている。 イ 色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色やイラスト等を多用したレイアウト、表現方法、文字等の配慮により、集中して学習できるよう工夫されている。 ウ 表紙は教材をイメージさせるカラフルなイラストが描かれている。サイズはA B判で楽譜が見やすく、背表紙のあるあじろ綴じで造本されている。
27 教 芸	ア 印刷は鮮明で、文字の大きさや書体が適切であり、落ち着いた色合いで統一されている。 イ 色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字等の配慮により、学習に集中できる紙面となるよう工夫されている。 ウ 表紙には音や音楽に関わる中学生のイラストが描かれている。サイズはA B判で楽譜が見やすく、開きやすい糸綴じで造本されている。

選定資料（音楽＜器楽合奏＞）作成の観点・着眼点

観 点	着 眼 点	
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。	
2 「あいちの教育の 基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。	
3 内 容 等	(1) 内容の選択	ア 音楽＜一般＞の内容との関連は適切であるか。 イ 我が国や郷土の伝統音楽を含む諸外国の様々な音楽や文化、生徒の生活経験を踏まえて興味・関心を高めるよう配慮されているか。 ウ 音楽活動の基礎的な能力を身に付ける学習と発展的な学習や、弾力的な教育課程の設定について配慮されているか。
	(2) 内容の程度	ア 内容は生徒の発達段階や興味・関心に適しているか。 イ 表現活動をするために必要な知識及び技能が定着するよう、学習活動と思考力・判断力・表現力等の育成を図る配慮がされているか。 ウ 重奏や合奏等アンサンブルについての配慮や工夫がされているか。 エ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切であるか。
	(3) 内容の構成	ア 内容は系統的、発展的に配列されているか。 イ 教材の配列や分量及び領域間の関連が適切であるか。
4 表記・表現及び使 用上の便宜等	ア 生徒の学びに向かう力を高めるよう、適切に表記・表現されているか。 イ 見出しや説明の文章等の表記・表現が工夫されているか。 ウ 本文記述と楽譜・挿絵・イラスト・写真・図表等が適切に関連付けられているか。	
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。	

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	<p>ア 学びのねらいやポイントを明確にして、まとめの楽曲を設定することで、進んで学び合う活動が展開できるよう編集されている。</p> <p>ア 和楽器を扱う教材には口唱歌（唱歌）やその説明を掲載して、音楽文化への理解を深めることや実感を伴った深い学びにつなげることができるよう配慮されている。</p>
27 教 芸	<p>ア 様々な楽器の基本的な奏法を身に付けるための学習内容を豊富に掲載し、基礎的な技能を確実に習得できるよう編集されている。</p> <p>ア 和楽器を扱う教材には口唱歌（唱歌）やその説明を掲載して、音楽文化への理解を深めることや実感を伴った深い学びにつなげることができるよう配慮されている。</p>

観 点	着 眼 点
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	<p>ア 和楽器に関する教材や資料を豊富に取り入れ、我が国の豊かな音楽文化を継承し、創造することができるよう工夫されている。</p> <p>ア 諸外国の楽器と和楽器に関する教材を取り上げ、我が国の豊かな音楽文化を理解するとともに、世界に視野を広げることができるよう工夫されている。</p>
27 教 芸	<p>ア 和楽器に関する教材や資料を豊富に取り入れ、我が国の豊かな音楽文化を継承し、創造することができるよう工夫されている。</p> <p>ア 諸外国の音楽に関する教材を取り上げ、その国独特のリズム、旋律、楽器の特徴を捉えることで、世界に視野を広げることができるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (1) 内容の選択	ア 音楽<一般>の内容との関連は適切であるか。 イ 我が国や郷土の伝統音楽を含む諸外国の様々な音楽や文化、生徒の生活経験を踏まえて興味・関心を高めるよう配慮されているか。 ウ 音楽活動の基礎的な能力を身に付ける学習と発展的な学習や、弾力的な教育課程の設定について配慮されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	ア 幅広いジャンルの中から取り組みやすい教材を精選し、「名曲旋律集」では鑑賞と表現を横断する教材が配列されている。和楽器には、唱歌が示されている。 イ 和楽器と諸外国との楽器の奏法や音色等を比較し、我が国の伝統音楽に対する関心を高め、理解できるよう配慮されている。 ウ ねらいに向かう基礎的な教材から、「まとめの曲」までが一連の学びとして配列されており、段階的に技能が身に付くよう配慮されている。
27 教 芸	ア 幅広いジャンルの中から親しみやすい教材を精選し、「楽器で Melody」では、様々な楽器で取り組める教材が配列されている。和楽器には、唱歌が示されている。 イ 楽器の解説や奏法に加え、実際に演奏されている場面のカラー写真を用いて、伝統音楽を身近に感じられるよう配慮されている。 ウ 巻末には「アンサンブル」として数多くの合奏楽譜が掲載されており、基礎的な知識や技能を生かして発展的な学習が展開できるよう配慮されている。

観 点	着 眼 点
3 内容等 (2) 内容の程度	ア 内容は生徒の発達段階や興味・関心に適しているか。 イ 表現活動をするために必要な知識及び技能が定着するよう、学習活動と思考力・判断力・表現力等の育成を図る配慮がされているか。 ウ 重奏や合奏等アンサンブルについての配慮や工夫がされているか。 エ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	ア 各楽器で取り組みやすい教材を精選し、教材ごとに練習のポイントが示されており、自主的に活動が行えるよう工夫されている。 イ 教材ごとに練習のポイントを示し、段階的に基礎的な技能が身に付くよう配慮されている。「話し合おう」では、協働的な活動が展開できるよう工夫されている。 ウ 「Let's Play!」「Let's Try!」では、発達段階に合わせて教材が編集され、個々の能力を伸ばし、他者との協働を促すよう配慮されている。 エ 巻頭や各楽器のページに演奏家からのメッセージを掲載したり、折り込みページに資料を掲載したりして幅広い知識が身に付けられるよう工夫されている。
27 教 芸	ア 各楽器で親しみやすい教材を精選し、「Q&A」では練習のポイントが示されており、自主的に活動が行えるよう工夫されている。 イ 練習のポイントや手順を分かりやすく示し、基礎的な奏法を習得しやすいよう配慮されている。「深めよう！音楽」では、思いや意図を生かせるように工夫されている。 ウ 「アンサンブルセミナー」「アンサンブル」では、教材の特性に応じて、音楽を形作っている要素に関連付けながら学習が深められるよう配慮されている。 エ 和楽器のページに演奏家からのメッセージを掲載したり、バンドスコアや楽器の図鑑等を資料として掲載したりして、幅広い知識が身に付くよう工夫されている。

観 点	着 眼 点
3 内容等 (3) 内容の構成	ア 内容は系統的、発展的に配列されているか。 イ 教材の配列や分量及び領域間の関連が適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	<p>ア 基礎的な奏法を説明した「演奏の仕方を身につけよう」から、学校の実態に応じて取り扱える「合わせて演奏しよう」「名曲旋律集」へと、系統的に配列されている。</p> <p>イ 教材は発達段階に応じて取り扱うことができるよう編曲・構成が配慮されており、鑑賞や創作と結び付け、学習を広げることができるよう工夫されている。</p>
27 教 芸	<p>ア 基礎的な知識や技能を身に付ける教材から共通事項に関連付けられた「アンサンブルセミナー」「アンサンブル」「楽器でMelody」へと、系統的に配列されている。</p> <p>イ 各楽器の特徴のよさを感じ取ることができる教材を示し、鑑賞や楽器の特性を生かした創作活動も取り入れて、幅広い学習ができるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<p>ア 生徒の学びに向かう力を高めるよう、適切に表記・表現されているか。</p> <p>イ 見出しや説明の文章等の表記・表現が工夫されているか。</p> <p>ウ 本文記述と楽譜・挿絵・イラスト・写真・図表等が適切に関連付けられているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	<p>ア 各教材に学びのポイントを示し、学習内容を明確にすることで、見通しをもって学習に取り組み、振り返ることができるよう工夫されている。</p> <p>イ 見出しは文字囲いや色分け、巻末資料は折り込みを利用した構成で、リコーダーの運指表やギターのコード表を大きく見やすくするなどの工夫がされている。</p> <p>ウ 写真や楽譜は鮮明で見やすく、楽器の構え方や奏法について、写真や図表を用いて分かりやすく配置し、本文と関連付けて適切にまとめられている。</p>
27 教 芸	<p>ア 学習目標や活動例が明確に示され、学習の見通しをもったり振り返ったりするなど、主体的な学びに向かうための工夫がされている。</p> <p>イ 見出しは大きなフォントで色分けがされており、リコーダーの運指表、ギターのコード表等の資料を見開きにまとめ、活用しやすくなるよう工夫されている。</p> <p>ウ 写真や楽譜は鮮明で見やすく、楽器や奏法について、写真や図表を豊富に配置するなど、本文と関連付けて適切にまとめられている。</p>

観 点	着 眼 点
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
17 教 出	ア 印刷は鮮明で、文字の大きさや書体が適切であり、色鮮やかな配色となっている。 イ 色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色やイラスト等を多用したレイアウト、表現方法、文字等の配慮により、集中して学習できるよう工夫されている。 ウ 表紙は教材をイメージさせるカラフルなイラストが描かれている。サイズはA B判で楽譜が見やすく、背表紙のあるあじろ綴じで造本されている。
27 教 芸	ア 印刷は鮮明で、文字の大きさや書体が適切であり、落ち着いた色合いで統一されている。 イ 色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字等の配慮により、学習に集中できる紙面となるよう工夫されている。 ウ 親しみがもてるように、表紙には音や音楽に関わる中学生のイラストが描かれている。サイズはA B判で楽譜が見やすく、開きやすい糸綴じで造本されている。

発行者・書名一覧 音楽（一般）

発行者の番号・略称	発 行 者	書 名
17 教出	教育出版株式会社	音楽のおくりもの
27 教芸	株式会社 教育芸術社	中学生の音楽

発行者・書名一覧 音楽（器楽合奏）

発行者の番号・略称	発 行 者	書 名
17 教出	教育出版株式会社	中学器楽 音楽のおくりもの
27 教芸	株式会社 教育芸術社	中学生の器楽